



成田ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

週 報



国際ロータリー2017～18年度会長 イアンH. S. ライズリー

第 2770 回例会 平成 29 年 10 月 27 日(金)

- ◇ 点 鐘 成田 温 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 伊藤 英徳 会員
- ◇ お客様紹介
 - 成田コスモポリタンロータリークラブ 加瀬 邦雄 様
 - 地区米山記念奨学委員会委員 生形 健一 様
 - 米山記念奨学生（秀明大学 観光ビジネス 3年）
ガッラゲ ナディーシャ セウワンディ 様
 - 成田高等学校 早川 公敏 先生
 - （2年生）藤澤 祐香 様、翁沢 詩慧 様、木坂 美亜 様
川又 えみか 様
 - （1年生）鈴木 麻友 様、遠藤 海莉 クラウディア 様



◇ ニコニコボックス



長原 正夫 会員： 一昨日、千葉銀行さん主催の第 82 回千成会ゴルフ大会が雨の中開催され、優勝させていただきました。「優勝したから今年 1 年間金利下げさせてよ」とお願いしましたが、「それはまたあとでご相談しましょう」というお話になりましたが、雨の中たくさん叩きましたところ、たまたまハンディが引っかかって優勝することができました。素晴らしいカップをいただきましたので、感謝してニコニコさせていただきます。



平山 秀樹 会員： 佐瀬さんで行ったモンゴル視察についてニコニコさせていただきます。先週の佐瀬さんの国際奉仕の委員会報告と合わせられたらよかったのですが、欠席してしまいました。すみませんでした。詳細は、佐瀬さんの報告と先週お配りしたペーパーに譲ります。今回大変印象に残ったのは米山記念奨学生のモンゴル、ウランバートルでの活躍です。当地での米山学友会に参加させていただきました。その席で、届いたばかりの「ロータリーの友」を指差しながら、オイドブ・バトゲレルさん（医学博士、ウランバートル市セレベ RC）が、「ロータリー米山記念奨学金を通して私達は『洗脳』されてしまいました」と破顔一笑されました。「ロータリーの友」がちょうど米山記念奨学金特集でした。特集の表紙が、米山

記念奨学会の木が世界各国の国旗の実を实らせている絵でした。まさに当地の米山学友会は、単なるOB会ではなく、奉仕プロジェクトに熱心に取り組んで大輪の花を咲かせてきました。各家庭への医学知識の普及のために日本語の「家庭の医学」をモンゴル語に翻訳するとか、大阪東RCと協力して貧困地区で図書館を作るなどされているそうです。この図書館で勉強して本来不可能であったモンゴルのセンター試験で好成績を収めて大学に進学することができた子も生まれたそうです。ロータリーでなければ体験できない奉仕プロジェクトの形に触れることができたことに感謝いたします。

◇ 会長挨拶

成田 温 会長

成田コスモポリタンロータリークラブ 加瀬様ようこそお出でくださいました。ごゆっくりお過ごしください。

米山記念奨学生ガッラゲ・ナディーシャ・セウワンディさん、地区米山記念奨学委員会委員の生形様、ようこそお出でくださいました。後ほど卓話をよろしくお願い致します。そして、成田高校早川先生、インターアクトクラブの6名の皆様、ようこそお出でくださいました。



9月29日の会長挨拶で RI 会長代理が当クラブの例会に出席される意向があるとお伝えいたしましたが、日程が決まりました。来年2月24、25日の地区大会において RI 会長代理として臨席予定である、第2780地区パストガバナー松宮 剛様が成田クラブの11月24日の例会に出席されます。2790地区内のロータリークラブの例会に出席したいとの申し出が寺嶋ガバナー事務所にあり、寺嶋ガバナーが成田クラブを推薦した次第であります。当クラブとしては、お断りする理由もありませんし、かえって名誉な事なので承知いたしました次第です。松宮 RI 会長代理のご意向では単なるゲストとして例会に出席されたいとの事です。卓話をお願いいたしましたが、卓話ではなくゲストとして5分程度のスピーチをする事を了承されました。また、例会終了後、懇談会の場を設営してもかまわないとの事でしたので、例会終了後に簡単な懇談会の場を設けます。

懇談会にどういった会員に何人位出席していただくか、第9分区の会長幹事に連絡するかどうかなど、また松宮様のほうが何人でお出でになるか決まっていらないようなので、後日決めてお知らせさせていただきます。

尚、あくまでもゲストとしての例会出席ですので、お土産等の特別な待遇は固辞されておる事もお伝えしておきます。

当クラブも通常の例会どおりに進行してまいりますので、出席の方をお願いいたしまして会長挨拶を終わります。

◇ 表彰式

- ・ロータリー財団 ポールハリスフェロー
- ・米山功労者 第7回マルチプル
平山 秀樹 会員



◇ 委員会報告

・第9分ロータリー情報研修会の参加お勧め

第9分区ガバナー補佐

諸岡 靖彦 会員

本日はガバナー補佐として、来月18日に開催されます第9分区ロータリー情報研修会について成田クラブの方々にご参加を呼びかけます。

「ロータリークラブって何？」と聞かれた時、あなたはどのようにお答えになりますか？地域社会の専門職業人、それから事業家、経営者でそれぞれの従事しているお仕事を超えて、地域貢献をしていらっしゃる皆さん、そして高い倫理水準を持って地域社会に影響力を及ぼしている方々の集まりであります。そして、世界的なネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進する拠り所でもあります。更に1人1人のロータリアンは、個人として、またそれぞれの事業所、家庭や地域社会で日々奉仕の理念を実践し、常に自己研鑽している。ロータリーの例会場は道場であり、またそういう意識の下に皆さんが参加している団体です。草創期とはだいぶニュアンス、印象が違うかと思えますけれども、地域社会をいろいろな面で動かしている方々が、自分の仕事、あるいは自分の身の回りの事を考える、それだけでありますと普通の市民です。ロータリアンはご自身の職業に懸命に努力されることに加えて、世のため人のためにとという考え方をもち、絶えずそれを意識して行動している人々の集まりです。

今回のロータリー情報研修会のテーマは「ロータリアンであることを誇りにしよう」について、ディスカッションして、学習しようということです。ロータリー情報研修会は、昨年の青木ガバナー年度に復活しました。私が入会した頃は、「ロータリー情報研究会」と称し、哲学的なレベルでロータリーの理念を勉強しておりました。講師にはパストガバナーの方々が立ち、いくつかの分区が合同で開催しておりました。昨年から分区ごとに「ロータリー情報研修会」となりました。今年度の寺嶋ガバナーも前年度のやり方を継承して、全14分区に推奨しましたが、3つの分区は去年のやり方は取らないということになりました。残った11分区で地区ロータリー研修委員会の方々が、チームとして分区を支援してください、運営いたします。主催はガバナー補佐で、それぞれの分区で開催し、ただいま準備段階取り中で、分区内のクラブに参加を呼びかけているところです。

プログラムは、まず地区研修委員が「ロータリアンであることの誇り」について30分ほど映像を使って分かり易くレクチャーします。去年も同じような形で、ロータリーの基本的な歴史の講義がありました。今年はロータリーが考えてきた奉仕の理念、ロータリーの意義、目的、ロータリアンのあるべき姿などを皆様方に伝え、実際に考えていただくのが第1部です。第2部はテーブル・ディスカッションです。計画としては、区内6クラブから100名程度の方に集まっていただくという計画ですので、1卓10人といたしましても10卓に別れて、「ロータリアンであることの誇り」をテーマに討論してまいります。各テーブルにリーダー（6クラブのクラブ研修委員長、もしくは研修リーダーの方、地区研修委員）を配置して50分ほど議論していただきます。このテーブル・ディスカッションが皆様にとって一番の刺激になります。誰もが自由に発言できるのですが、話が煮詰まってくるとそこから議論が盛り上がってきます。結論を出す必要はありません。それぞれの方がロータリーに対する認識を新たにすると、またいろいろな刺激をインプットすることによって、次の段階でそれぞれのロータリーのお立場、あるいはロータリーで行動する時の

いろいろな意味が見えてくる、そしてそれを自分なりに磨いていくとロータリーがもっと明確に見えてくる、そんな効果を引き出す研修です。

第3ラウンドは全体会議です。当クラブの松田会員が地区理念研修委員長として全体の会議を取り仕切って、議論を深めます。そして地区研修リーダー・関口徳雄パストガバナーが全体講評で締めくくります。私も何かしゃべれと言われておりますので、その時の実際に基づいて発言をさせていただく事になるかと思えます。参加型の研修ですので、後々皆様方の頭の中に残り、それが皆様の次のロータリー活動の1つの大きなステップになる、あるいはきっかけになる、あるいは踏み台になる事が期待されます。特に入会歴の新しい会員はこの研修会に参加することで、ロータリーがより身近になります。

よろしくご参加の程お願い申し上げまして、私のガバナー補佐としての役割を果たさせていただきます。ありがとうございました。

・ガバナー準備室会議

堀口 路加 会員



本日、例会後、葵という1つ下の階のお部屋で諸岡ガバナー年度の準備室会議を開かせていただきます。先月9月22日に、現在の段階でいろいろな役割を担っていただく方25名ほどに集まっていたきまして会議をしましたが、毎回この人数が集まるわけにはいきませんので、今回は今までの準備室の骨子を固めるにあたって集まっていた、石川年度と成田年度

と神崎年度と、これから来る深堀年度、この4年間にわたる会長、幹事さん、あとは政策委員会としてメンバーになっていただいている設楽会員、石橋会員、松田会員、佐瀬会員、この方々にお集まりいただいて会議をする予定です。前回、9月22日にいろいろな現在までの打ち合わせをした段階で決まってきたことを皆さんに周知をしたところですが、今日は一度それを振り返ってみて、これからどうやって進めていくか、具体的な話し合いをすることになっておりますのでよろしくお願いいたします。19年度、20年度のガバナー年度というのは、成田ロータリークラブ全体でいろいろな役割を担っていくこととなります。全体と言っても、今はまだピンとこない部分がたくさんありますので、いずれ皆さん1人1役担っていただく、そういう時期が来るかと思えますので、その時またどうぞよろしくお願いいたします。

・青少年委員会

矢野 理恵 会員

青少年委員会リーダーの矢野でございます。今日は成田高校インターアクトクラブの先生及び生徒6名の皆様に来ていただきました。実はこの6名の皆様が台湾へ短期留学することが決まりました。今日は皆さんに成田ロータリークラブからお餞別を贈呈させていただきたいと思えます。昨年は1名が海外へ行かれたということですが、今年は6名と、とても活気づいたクラブとなっております。





<早川先生> こんにちは。今日は大勢の生徒共々お招きいただきましてありがとうございます。また、日ごろ当インターアクトクラブへ多大なご支援をいただきまして感謝申し上げます。今回、国外研修へ6名の生徒が参加させていただきます。6名というのは県内のインターアクトの中でも一番多くて、全部で32～33名だったと思うのですが、そのうちの6名が本校から参加ということになります。この中に2年生が4人おりますが、この4名は国外研修へ行く週の月曜または火曜日まで修学旅行でオーストラリアに行って、戻ってきてまたすぐに台湾へ行くこととなります。台湾では、現地の施設訪問ですとか、現地のインターアクターとの交流ですとか、とても充実した内容が予定されているということを知っております。インターアクトクラブに入っていないと、こんなに良い経験も出来ないと思います。生徒にとってはとても幸せな事だと思います。私が言うことではないのですが、とても魅力的で優秀な生徒達ですので、たぶんしっかりと研修してくれてくると思います。それでは、生徒を代表しまして藤澤からご挨拶を申し上げます。

<藤澤様> こんにちは。成田高校2年の藤澤と申します。本日は例会に参加させていただき、ありがとうございます。私は、海外は今までアメリカとカナダには行ったことがあるのですが、アジアの国には行ったことがないので、すごく楽しみにしています。台湾は親日国と聞いていて、いつか行ってみたいと思っていたので、このような機会を恵んでいただいて本当に感謝しています。現地での貴重な体験を最大限生かして、成長して帰ってきたいと思っています。ありがとうございました。



<矢野会員> 今回はこちらのインターアクト部の皆さんに、青少年委員会に属していないにもかかわらず、私が出席できない委員会等、陰ながら援助していただいた橘会員、小寺会員、そして私の指導を含めていろいろ関わっていただいている石橋会員、この皆様の熱意で今回は6名という大きな人数を送り出すことができるのではないかと思います。青少年委員会リーダーとしまして、あらためて会員の皆様のご協力にも感謝したいと思います。ありがとうございました。

◇ 幹事報告

長原 正夫 幹事

【回覧】

- ・例会変更 佐原ロータリークラブ
- ・第6回成田スポーツフェスティバルへのご協力についてのお礼
- ・なりた環境ネットワークより講演会の参加者募集のご案内

【連絡】

- ・11月のロータリーレート 1ドル=114円
- ・地区大会記念ゴルフは、台風の為12月4日(月)に延期します。実施要項は地区事務局より案内があります。
- ・次週11月3日は祝日の為、休会です。10日が第一例会・理事会となります。
- ・11月17日(金)は、18日(土)情報研修会への振替休会となります。
メイキャップをされる方は、17日(金)成田ビューホテルの受付にてお願いします。



◇卓話者紹介

地区ロータリー米山記念奨学委員会 生形 健一 様

こんにちは。ただいまご紹介いただきました、今年度、地区ロータリー米山記念奨学委員会委員の生形健一です。八街ロータリークラブに所属しています。本日は、米山卓話にお招きいただきまして誠にありがとうございます。奨学生共々お礼を申し上げます。

また、成田ロータリークラブの皆様には、日頃から米山記念奨学事業への活動にご理解とご協力をいただき、重ねて御礼と感謝を申し上げます。

さて、ここで本日の卓話者であるガッラゲ ナディーシャ セウワンディさんのプロフィールを簡単にご紹介いたします。まず、出身はスリランカ。大学は秀明大学、専攻は観光ビジネスの3年生です。指導教官からのお話では、とても優秀な成績を残しており、模範学生だそうです。また、地域住民との交流活動にも積極的に参加し、日本文化を学ぼうとする姿勢が好感を持たれているそうです。2015年度、大学祭の日本語スピーチコンテストでは優勝しております。また、2016年度女子留学生日本語弁論千葉市大会で優秀賞を受賞しているそうです。世話クラブは大網ロータリークラブです。このあと、彼女の卓話の中でもその辺の細かいところはお話しすると思います。お時間もないそうですので、私の話はこの辺で終わらせていただきまして、奨学生の卓話へバトンタッチします。大勢のロータリアンの皆様を前にして大変緊張していると思いますが、温かい目で見守っていただければ幸いです。本日はどうもありがとうございます。



～～ 私の夢 ～～

ガッラゲ ナディーシャ セウワンディ 様
(秀明大学 観光ビジネス3年)

皆様こんにちは、本日はこのような卓話の機会を与えて頂き、感謝いたします。

不慣れではございますが、精いっぱいお話させていただきますので、よろしくお願い致します。



私は光り輝く島という名前と呼ばれている小さな島国、スリランカから参りました。ガッラゲ ナディーシャ セウワンディと申します。私のモットーは「努力はうらぎらない」ということです。どんなに辛いことがあっても諦めずにコツコツ努力していくことが好きです。趣味は献血です。一般にみて変わった趣味だなあ～と思われる方もいるかもしれませんが、献血が私の趣味となった理由があります。

スリランカでは1983年から2009年まで26年間の内戦が続き、内戦でたくさんの方が亡くなりました。内戦が一番ピークになった2008-2009年頃ニュースで毎日のように、亡くなられた方の遺体や大量出血で病院へ運ばれている軍隊の方の姿などを放送していました。自分の命まで捨てて、国を守るために戦っているその方々のために私に何ができるかを考えたことがありました。その時に思い付いたのは献血です。その頃私は体重が50キロ以下で献血できませんでしたが、日本に来てはじめて体重が50キロ以上になり、やっと私の趣味の献血をすることができました。2年前にはじめて献血をしたときに涙が出るほど嬉しかったです。健康な間はずっとこの趣味を続けていきたいと思っています。

現在私は八千代秀明大学観光ビジネス学部3年生です。大学で観光ビジネスについて幅広くさまざまなことを学んでいます。簡単にいうと観光業の歴史、現在の状況、観光地や世界遺産、観光地理、サービスマナー、航空作業、観光経営、観光リーダーシップなどです。それ以外に2年間日本語を学び、これからビジネス日本語や上級日本語会話など日本語能力をもっと磨ける科目が取りたいと思っています。大学の単位がすべて今年で取得できるので、来年から就職活動に力を入れて目標の達成に向けて努力していきたいと思っています。

では、私の国スリランカについて、少し紹介したいと思います。スリランカはインドのインド洋に突き出た先端から少し南東に位置する小さな島です。スリランカは自然の豊かさから「インド洋の真珠」と呼ばれています。



現在スリランカと呼ばれる私の国は、昔「セイロン」と呼ばれていたそうです。様々な鳥や動物が棲む緑豊かで、人々の心を射止める宝石。そして、どこでも暖かい人々のおもてなし！



このように手を合わせて挨拶する時に「アーユボーウン」と言います。長生きできますようにという意味です。

- 人口は約 2,000 万人。北海道の約 8 割という国土の中に、自然、民族、文化が驚くほどの多様性を備えています。
- 首都は、スリー・ジャヤワルダナプラ・コーッテという町です。
- シンハラ人、タミル人、ムーア人の民族がスリランカに住んでおり、宗教が 4 つあります。人口の 70% 占めているのは仏教。11% がキリスト教、8% イスラム教で、10% がヒンドウ教です。

スリランカの名物は紅茶です。スリランカ紅茶はセイロンティーと呼ばれ、世界中で飲まれています。実は、皆様がよく知っている「午後の紅茶」。この茶葉もスリランカ産なのです。小さな島国ですが、きれいな海に囲まれており、世界遺産や遺跡、豊かな自然など見どころはたくさんあります。皆様が機会があればぜひ一度訪れていただければと思います。

私は、日本に来て 4 年経ちましたが、あっという間のように感じます。今その時間を振り返ってみると、辛いこともたくさんありましたが、後悔することはありません。日本へ留学する数年前、私の人生には未来も希望も失われた時期がありました。すべての始まりが大学入試に合格出来なかったことです。ここで、皆さまニスリランカの教育について少しお話したいと思います。スリランカでは、小学校から大学まで教育費がすべて無料です。私立大学が数えるほどしかなく、学生が高校卒業後大学に入るとしたら国立大学に入るのが普通です。大学に入るための試験がアドバンスレベル資格試験または、A/L 試験と言います。A/L 試験を受験者 12 万人のうち 7 万人が大学入試資格を得ますが、実際に大学に入学できるのはわずか 2 万人となっています。設備や予算の関係で大学の定員入学者枠が限られていることが原因とされています。

そういう状況でしたが、大学に入るという夢をずっと抱き続けてきた私には、大学入試に合格出来なかった事がとてもショックで信じられませんでした。このことは私にとって、人生最大の失敗だと思えるほどに深刻な出来事でした。

なぜならば、高校生活二年間私は、受験のために努力に努力を重ねて精一杯頑張っていたからです。そのためこの結果をなかなか受け入れられずにいて、自分がこれから進むべき道も決められずに何年も悩みました。ですが、その失敗があったからこそ、日本の大学に留学することができたのです。

大学ならイギリスやオーストラリアにもありますが「なぜ日本にしたの？」と多くの方に聞かれます。答えは日本語です。スリランカの公用語はシンハラ語ですが、社会人になってからほとんど使うのは英語です。

そのため英語を話せる人は多くいますが日本語などほかの言語を話せる人はめったにいません。そのことが、私が日本語に興味を持つようになった一番の理由でした。そして、違う国で生活し、文化の違いや人間関係などを色々挑戦しながら、自分を磨いていきたいと決めました。そうして日本は私の第二の故郷になったのです。

私の家族は両親と弟一人の4人です。弟は今高校生で将来弁護士になることを目指して勉強を頑張っています。そして、私は既婚者で、彼も同じ大学で一緒に勉強しています。日本に留学して大学に入るという大きな夢を実現できた今の私は、新たな目標を持って前を向いて頑張っています。

それは、将来日本で就職することです。そのために日本に来て一番印象に残った日本のおもてなしを学ぶことがまず、やりたいことのひとつです。自分のことよりも相手の立場や考えを尊重できる日本の社会は世界でも希だと思えます。

その思いやりの心が世界を平和に保つ一つの方法ではないかと私は感じています。私にとって空港はおもてなしの玄関であり、空港での仕事に就くことが目標です。成田空港でグランドスタッフになることを目指して今、大学生活を楽しく送っています。

この夏、将来の目標に向かって一步前に踏み出すことができました。それは、インターンシップに参加できたことです。2週間羽田空港でJALスカイのグランドスタッフ就業体験に参加し、将来が待ち遠しくなりました。体験を通じて思いやりの心でお客様対応や、サービスを提供する際に必要になることをたくさん学び、日本社会を肌で感じることができました。将来に意味のある経験が積めたと思えます。

ところが、去年大学で就活の説明を受けたときに、私にはアルバイト休んでインターンシップに参加するなんて無理！だと考えていました。しかし、ロータリー奨学金を頂き、お金の心配なく安心して、2週間もアルバイトを休んで、インターンシップに参加することができました。この場を借りて、大網ロータリークラブをはじめロータリアンの皆様に心から感謝いたします。

将来私は、日本で就職して何年か経ったら、その経験を活かし、スリランカと日本の架け橋になって日本の良さをスリランカの人々に伝えて、スリランカのことを少しでも世界の人々に伝えられるようなことをやりたいと考えています。

そして、どうしても、叶えたいもう一つの大きな夢があります。それは、いつの日か私もロータリアンになりたいという夢です。ロータリーの支援を頂いて、私が感じた気持ちを誰かに与えたいです。ロータリアンのように誰かのために愛情深く一生懸命にありたいです。そのような私になるためにこれからの人生を頑張っていきたいと思っています。

ロータリー米山記念奨学会の支援を頂くようになったからこそ、私の人生がまたキラキラと輝きはじめたと感じています。

奨学金を頂く前の私は、学費がちゃんと払えなくて、とても辛い思いをしてアルバイト浸りの生活を送った経験もあります。大学の9時から夕方4時までの授業を終わってから急いで6時から夜10時までのアルバイトへ、時には深夜アルバイトで夜10時から朝6時までのアルバイトをやったこともあります。

そのような生活を送ってきた私を助けてくれたのはロータリアンの方々です。ロータリアンの方々のおかげで私の人生が大きく変わり、変化のある日常を楽しめるようになったのではないかと私は感じています。また、両親に経済負担をかけずに勉強を続けられるのも皆様のおかげです。

私はロータリー奨学生として選ばれたことを母親に伝えた時に母が嬉しくて思わず泣き始めました。「ロータリアンの方々があなただけを助けにきてくれた神様です」と、今も話しています。母の言う通りです。私の神様はロータリアンの皆様です。人生を変えた奇跡の出会いで、感謝してもしきれないと私は感じています。

ほかの奨学金と違ってロータリーの奨学金はお金では買えない友情、愛情、異文化経験や人生の宝物と思えるような出会いを私たち奨学生にプレゼントしてくれています。そして、ロータリー米山記念奨学生として選ばれたことは、自分の人生を振り返ったときに後悔のない人生を送るための道を案内してくれているかのように私は感じています。

私が現在大変お世話になっている大網ロータリークラブは私にとって、もう一つの家族です。毎月の例会に参加することは、実家に戻って来たような気持ちになります。美味しい食事やデザートまで用意してくれていて、カウンセラーをはじめ事務員の方まで、暖かい気持ちで私を支えてくれているロータリアンの方々が、誰かのために愛情深く一生懸命になることを私に教えてくれました。

ロータリークラブへの感謝を言葉にすることはなかなかできないことですが、感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、本当にありがとうございました。いつの日かお世話になった方々や日本に恩返しができるような、人に役立つ素敵な人間として活躍できることを願っています。そして、ロータリー米山記念奨学生になったというこの貴重な機会を一生大切にしていきたいと思っています。

本日はご清聴頂きありがとうございました。

◇ 点 鐘 成 田 温 会 長

出 席 表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
74	71	42	29	59.15%	70.42%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
松田 泰長 会員	10月21日	13 分区情報研修会
橘 昌孝 会員、矢野 理恵 会員	10月25日	成田コスモポリタンロータークラブ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078